

700億円超の市役所建替え 本当に必要でしょうか?

決めるのは
「市民」

市議会特別委員会で大西市長は、現庁舎を建替え、
「NTT桜町」に移転することを表明しました。

県庁より14年も新しい市役所、なぜ壊す?



(熊本市役所)

市の「長寿命化指針」では、「既存建物の耐用年数は原則70年」
です。現庁舎は、築42年で耐用年数を約30年残しています。市
役所よりも古い県庁は、耐震補強して使っています。

【熊本市役所本庁舎】
1981年(S56)10月竣工、築42年
地上15階・地下2階、高さ64.1m、延床面積39,686㎡
設計:山下設計、施工:大成建設・大林組等JV

【熊本県庁】
1967年3月竣工、築57年



(熊本市役所)

耐震分科会の「耐震性なし」の判断は、マチガイ

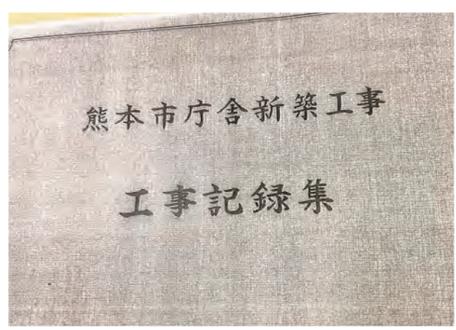
市長は、耐震分科会の「耐震性なし」の判断を根拠に現庁舎の建て替えをすすめています。
しかし、現庁舎に「耐震性がある」ことは動かぬ事実です。

●震度6強の熊本地震で損傷しなかったのは地中連続壁の効果
「熊本市役所が、震度6強の熊本地震を耐えぬきビクともしなかったことが、耐震性ある地中連続壁の効果である」と、三井宜之熊本大学名誉教授や日建設計構造部長を務めた齋藤幸雄氏も指摘しています。

●現庁舎「工事記録集」には、
大林組の耐震性ある地中連続壁の工法を明記
地下工事を担当した大林組は、当時、耐震性のある地中連続壁を設置する「OWS・SOLETANCHE工法」での実績を積み、テクニカルレポートを発表していました。その工法による地中連続壁が現庁舎地下に施工されてあることが「庁舎新築工事・工事記録集」に明記されています。

●現庁舎地下には、直径2mのコンクリート杭159本
+厚さ60cm・深さ19mの地中連続壁
現庁舎の地下には、直径2mの「場所打ちコンクリート杭」159本が密集して打ち込まれ、地下階面積の10%を占めています。その周りを厚さ60cm・深さ19mの鉄筋コンクリートの地中連続壁が硬い層に届くまで設置されています。

●耐震分科会は「工事記録集」を見なかった
上野みえこ議員の一般質問の市長答弁で、有識者会議の耐震性能分科会委員が、「工事記録集を見ていない」という事実が判明しました。事実を示す資料を見ずに行った耐震性能分科会の判断には重大な誤りがあります。



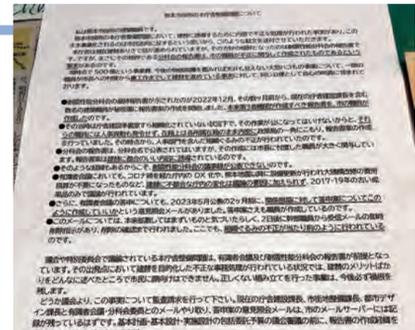
(現庁舎の「工事記録集」表紙)

(「工事記録集」に耐震性ある地中連続壁工法を記載)

掘削面積	5,108 - m ²
平面延長長さ	274.4 - m (44.1)
② 工法、施工	OWS・SOLETANCHE 工法 4リ-40M 掘削
③ 使用材料	
鉄筋	281 - ton
コンクリート	PC = 270 kg/cm ² 3,581 - m ³

【三井宜之熊本大学名誉教授の意見】
基礎杭や地中連続壁の耐震効果は明らか
(元熊本建築構造評価センター理事長)
「基礎杭(鉄筋コンクリート造場所打ち杭)は地下2階の床面積の約10%程度の総断面積を有し、加えて厚さ60cm・鉄筋コンクリート造の地下連続壁が杭周辺に設置されおり、基礎下の地盤の変位を抑える効果は明らか」
(有識者会議に提出された三井宜之氏の意見書より)

熊本市の建築職員から、内部通報
「耐震分科会の報告は、職員の不正な関与で作成」
市長が唯一の「建替え根拠」にしてきた有識者会議・耐震性能分科会について、熊本市建築職員から議会へ「内部通報」が届きました。通報者は、「有識者会議・耐震分科会の報告は、職員の不正な関与で作られている」と告発し、「一部職員が市長への忖度から裏工作までして建替えをすすめている事実、公僕として良心の呵責にさいなまれている」とも述べています。
日弁連は、地方公共団体の行う第三者調査委員会の調査が適法かつ適正に行われるために「第三者委員会の指針」を策定しています。ここでは、「報告書案の作成を含め、事務局が報告書の内容に実質上関与してはならない」と定めています。内部通報は、この点に触れる内容です。



日本共産党 2024年夏の号
熊本市議団市議会だより
発行: 日本共産党熊本市議団 熊本市中央区手取本町1-1 TEL: 328-2656 FAX: 359-5047
メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp ホームページ: 共産党熊本市議団 検索

上野みえこ 井芹栄次

さまざまなご相談は 日本共産党市議団へ
☎096-328-2656

市役所建替えは、ムダづかい！

「616億円+α」天井知らずの事業費

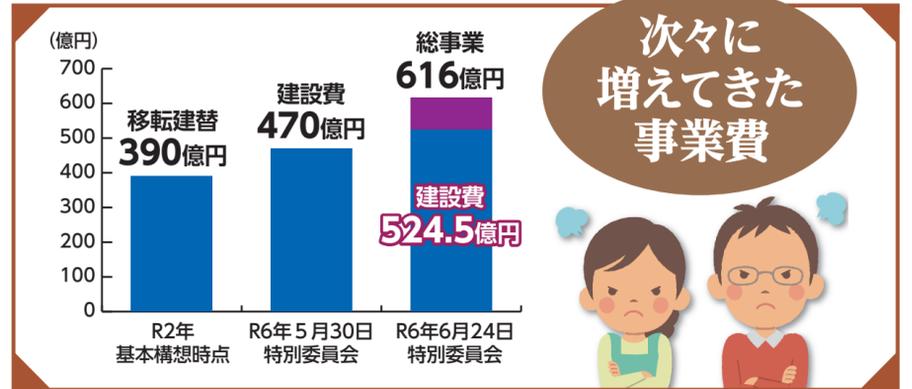
3年先まで「事業費」がわからない…

6月の庁舎特別委員会の資料に、「616億円+α」という事業費が提案されました。過去に「+α」をつけて天井知らずの事業費が説明されたことはありません。特別委員会では「事業費は、基本設計後に示せる」と答弁しましたが、それは3年も先です。

【概算事業費】 (区役所・市営駐車場案)	
NTT桜町用地費	83.5億円
設計費	20億円
庁舎建設費(区役所込)	421億円
その他の費用	1.5億円
現庁舎解体費	90億円
合計	616億円



(桜町再開発)

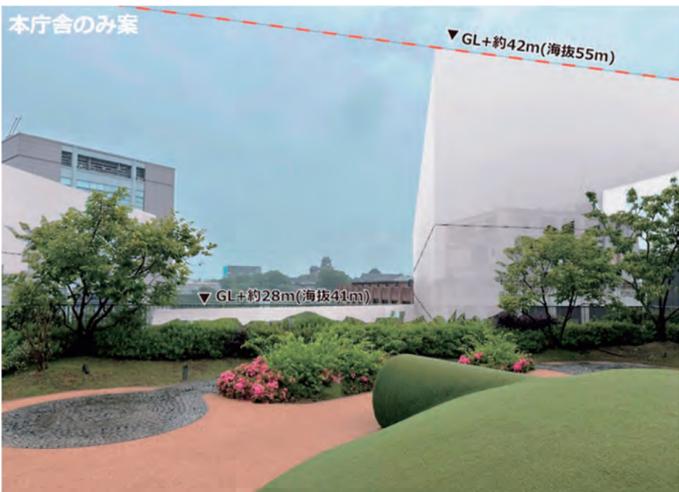


元利合わせ「642億円」の借金返済 30年先まで続きます

熊本市は、桜町再開発など大型ハコモノへの投資で市政史上最悪・5,000億円の借金財政です。さらに「市役所建替え」の借金返済が元利併せて642億円ということが、市の資料で明らかになりました。今後、利息が大幅に上がる可能性があり、返済額はさらに増えます。借金返済が完了するのは2053年の予定で、30年も先です。大型ハコモノによるムダづかいのツケは、子どもや孫たちです。

市民の声を聞かず、「NTT桜町」移転を発表

高さ55mの巨大ビルで
熊本城の良好な景観が守れるか？



(サクラマチビル屋上から熊本城を見る)

NTT桜町に建設される市役所は、区役所を別棟にして、地上9階・地下1階、高さ55mの巨大ビルです。

上通・通町・籠町通り等の賑わいに逆行

市役所には、毎日5,000人近い人が来庁します。市役所がNTT桜町に移転すれば、通町・上通り・籠町通りなどは市役所からの人の流れが遠のきます。中央区役所が別棟でも、区役所利用は、職員400人・来庁者約1,000人です。特に、職員の85%以上が桜町の本庁であり、飲食店への影響が懸念されます。

市民の声

桜町に決定の新聞報道見ました、もともと建設大反対で、下通り・上通りなどのまち中が疲弊するのではないかと危惧しています。
70代 女性



桜町に移転するのは困ります。売上げに影響します。大反対です。
中心商店街 店主

なぜ市民の声を聞かない。どこで決まっているのか。
中央区 男性



	来庁者	職員	合計
本庁舎・議会棟	約1,000人	2,300人	3,300人
中央区役所	約1,000人	400人	1,400人
合計	約2,000人	2,700人	4,700人

市役所建替えより

予算は、暮らし・福祉・教育・子育てに使ってほしい！

自治体の仕事は、いのち・暮らし・福祉を守ること。税金は、そのために使うべきです。



子ども医療費の完全無料化	7億円
学校給食無償化	24億円
国民健康保険料1人1万円値下げ	13億4,000万円
高齢者の補聴器購入助成	1,000万円
市営住宅の改修・建替え	約20世帯の1棟 5億円
すべての学校体育館のトイレ洋式化	10億円
小中学校全学年への35人学級拡充	5億7,000万円

バス事業「全国共通ICカード」の継続利用を

…市役所建替えの1%程度でできます…

バス事業のキャッシュレス決済機器が更新時期を迎え、「全国共通ICカード」が使えなくなる状況になっています。

現行の「共通ICカード」を継続利用するためには、8億5000万円の追加費用が必要です。市役所建替え費用は700億円以上に膨らんでいくことが明らかになりました。その1%を活用するだけでも「全国共通ICカード」は継続できます。

現庁舎の解体費「90億円」で、「区役所&防災センター」が建設できる